



制服感情って何だろう？

高校生になってファストフード店でアルバイトを始めた卒業生が「お店の制服を着たとたん、気持ちがしゃきとして『いらっしゃいませ！ありがとうございました！』なんて、普段はあまり使わないていねいな言葉が自然と出てくる」と言っていました。また、警察官や消防官、看護師の方が「制服に身を包むと、使命感や責任感がいっそう高まる」という話を耳にしたことがあります。プロ野球の入団会見では、ユニフォームに初めて袖を通した選手が「やっとチームの一員になった実感がわいてきました」と語り、Ｊリーグの選手も「日本代表のジャパン・ブルーのユニフォームを着るのが夢です」とあこがれを語り、自らをふるいたたせます。

これらに共通するのが「制服感情」です。つまり制服（ユニフォーム）を着た人が味わう、組織への所属感や仕事への使命感などのことを言います。みなさんにも似たような経験がありませんか。

中学生になって初めて柳沢中の制服に袖を通したときに、何か気持ちの変化がありませんでしたか？これは何も制服（衣服）に限ったことではありません。髪型や身に着けるもの、持ち物など、外見を少し変えたことでその時の感情が微妙に変化した経験を味わったことがある人もいるでしょう。例えばお化粧をしたときに、ちょっとだけ大人になった気持ちを味わったり、整髪料をつけていつもと違う髪形をしたときに、ちょっといばったような気持ちになったり。また、同じハチマキを結ぶことでクラスの団結が深まったり。これらも「制服感情」のひとつと言えるでしょう。

多くの場合この「制服感情」はプラスに働きます。その職業や集団の制服やユニフォームに身を包むことで気持ちが引き締まったり、仲間同士で同じものを身に着けることで、仲間との一体感が深まったりします。「いい着物 着れば家でも かしこまり」（＝よい着物を着れば、たとえ自宅でも自然ときちんとした態度をとるものだ）と川柳（せんりゅう）にもよまれるように、きちんとした服装が気持ちを正し、さらには行動をも規制することがよくわかります。

しかし、逆にマイナスに働く「制服感情」もあります。教職について間もないころに、中高生の非行問題を研究している方のお話を聴く機会がありました。その方は薬物乱用や援助交際の問題を起こす生徒の特徴として、「茶髪、ミニスカ、ルーズソックス」を挙げていました。

「えーっ、茶髪の人だってちゃんとした人もいっぱいいるよ！ミニスカはただのファッションだから関係ないじゃん！そんな大人の偏見だよ！」という反論はもっともです。その方も「茶髪、ミニスカ、ルーズソックス」の生徒が必ず薬物を乱用し、全員が援助交際をすると決めつけているわけでは決してありませんでした。この方が問題としているのは本人が味わっている「制服感情」よりも、周囲の人が抱く「制服感情」なのです。つまり「どんな服装だろうと、私はちゃんとしているよ！どんな格好だろうと、中身には変わらないじゃん！人を外見で判断しないでよ！大切なのは心でしょ」などと本人がいくら強く決意していても、周囲の人がそれをすぐに、そして十分に理解することは難しいということなのです。

また、「服装は個人の自由でしょ、誰にも迷惑かけてないじゃん！」という反論は残念ながら制服には当てはまらないことが多いのです。同じ制服（ユニフォーム）を身につけている集団の中で、ちょっとだらしのない人がいた場合、「〇〇さんはだらしのない」ではなく、「□□中学校はだらしのない、△組はきちんとしていない」と同じ制服（ユニフォーム）を身に着ける集団全ての評価にかかわってくることもあるからです。

みなさんは TPO という言葉を聞いたことがありますか。T＝Time（時）、P＝Place（場所・場面）、O＝Occasion（目的）の略です。おごそかな儀式のときにはきちんとした服装をすれば心も引き締まります。休日のリラックスした服装は、心を解放させてくれます。TPO に合わせた服装は、自分の心をコントロールするだけでなく、周囲の人にもよい印象を与えてくれるものです。

軽装スタイル期間が終わり、冬型標準服での学校生活が始まっています。一人一人がもう一度自身の着こなし、身だしなみを振り返ってみましょう。自分自身も、そして周りの人も気持ちよい毎日を過ごしたいですね。

□来週の予定

月/ 日（曜）	行事予定	備考
11/ 3（月）	文化の日	
11/ 4（火）	あいさつ運動始	
11/ 5（水）	市教研	1年③時間授業（給食なし）
11/ 6（木）	生徒総会リハーサル 市教研（道徳）	
11/ 7（金）	あいさつ運動終 生徒総会 漢字検定 ヤギカフェ	